

事業名：地域防災力向上支援事業

参事 (危機対策・防災)

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

・市民
・市職員

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2	市職員	人	1,140	1,146	1,141	1,141

手段 (事務事業の内容、手法)

防災訓練及び防災意識啓発を目的としたセミナー等を行う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	防災訓練・セミナー等開催回数	回	70	52	63	55
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・市民の防災意識の向上が図られる。
・市職員の災害対応力の強化が図られる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	防災訓練・セミナー等参加人数	人	21,858	18,732	19,635	19,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,662	2,004	2,649	4,059
正職員人件費 (B)		千円	15,374	14,877	14,834	15,148
総事業費 (A+B)		千円	18,036	16,881	17,483	19,207

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携避難所運営訓練 ・自主防災研修会 ・防災あんしんマップの更新 ・想定浸水深標識設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携避難所運営訓練 9千円 ・自主防災研修会 24千円 ・防災あんしんマップ 1,171千円 ・想定浸水深標識設置 649千円 	

事業開始背景

大規模災害を踏まえ、訓練及び意識啓発による地域防災力強化が求められている。

事業を取り巻く環境変化

「災害対策基本法等の一部を改正する法律(令和3年5月10日公布)」により、頻発する自然災害に対応して、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保及び災害対策の実施体制の強化等が規定された。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった防災訓練や出前講座があったものの、近年の全国で発生している大規模自然災害を受け、防災・減災に対する市民の意識は高まっており、自治会や自主防災組織等による防災の取組みや職員の災害対応訓練を継続的に行っている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	近年では毎年のように全国各地で大規模自然災害が発生しており、市民の防災・減災への関心は高く、自治会や自主防災組織等で防災への取組みを行っている地域がある。一方で、防災訓練等の取組みを行っていない地域もあり、こうした地域への防災啓発を進めていくことで、成果が向上する余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	防災意識向上に向けた取組みは、地域住民及び事業所と連携して行われるものであり、現状の市の負担は最小限である。
	なし		

事業名：災害対応物品整備事業

参事 (危機対策・防災)

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

・平成24年度から想定避難者数1万人とし必要物品等の整備を開始し、平成31年度(令和元年度)に毛布1万枚の備蓄を完了。
 ・冬の災害時に必要な物品を含め、災害対応物品等の計画的な整備を進める。(寝袋は10年間で5,000個を目標とする)

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	災害用毛布備蓄数	枚	10,000	10,000	10,000	10,000
活動指標 2	災害用寝袋備蓄数	個	0	500	1,000	1,500

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

災害時の生活環境を確保する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	備蓄目標に対する充足率(災害用毛布)	%	100	100	100	100
成果指標 2	備蓄目標に対する充足率(災害用寝袋)	%	0	10	20	30

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	4,140	7,983	8,170	7,951
正職員人件費(B)		千円	6,534	6,485	3,804	5,438
総事業費(A+B)		千円	10,674	14,468	11,974	13,389

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応物品の購入、備蓄 ・備蓄場所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時避難所用寝袋 2,420千円 ・アルミマット 775千円 ・食料、水 1,660千円 ・備蓄場所の整備 558千円 ・避難所開設用ボックス 758千円 	

事業開始背景

災害初動期の対応に必要なとなる物品の整備が必要不可欠である。

事業を取り巻く環境変化

北海道胆振東部地震を経験し、ライフラインの途絶を想定した事前備蓄の重要性が再認識されている。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	備蓄計画に基づき、計画的に購入している。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	長期的・段階的に必要物品を購入・備蓄する事業であり、着実な対応が求められるものである。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	いつ起こるか分からない災害に対応するためには、一定程度の備蓄物品を維持する必要があり、コストの削減は困難である。
	なし			

事業名：庁舎等耐震化検討経費

参事(庁舎耐震化)

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 3年度	区分1	廃止	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・本庁舎及び市民会館

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	本庁舎	棟	0	1	1	0
対象指標 2	市民会館	棟	0	1	1	0

手段(事務事業の内容、手法)

- ・庁内検討委員会、専門委員会を設置し、検討を行う。
- ・市民アンケート、パブリックコメントにより、意見聴取を行う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	庁内検討委員会の実施回数	回	0	0	7	0
活動指標 2	専門家会議の実施回数	回	0	0	5	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・耐震化の手法・建築場所・想定規模について、市の基本的な考え方をまとめる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	市の基本的な考え方の決定	件	0	0	1	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	0	298	1,382	0
正職員人件費(B)		千円	0	381	12,932	0
総事業費(A+B)		千円	0	679	14,314	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	市の基本的な考え方の検討 専門家会議 市民アンケート、パブリックコメント	専門家会議開催経費	405千円
		市民アンケート実施経費	681千円

事業開始背景

本庁舎の耐震診断を行った結果、震度6強から7の地震に対する耐震性に疑問ありと判定されており、本庁舎の整備に関して検討する必要がある。はじめに庁内での検討をすすめ、その後、市民に対して現本庁舎の現状と課題について説明等を行った上で、整備方法に関する市の基本的な考え方を検討し公表することとした。

事業を取り巻く環境変化

平成29年度に昭和56年以前の旧耐震基準で建設された庁舎の建て替えに活用可能な起債が創設されたが、令和2年度までの時限的なものであった。本庁舎の建て替えは全国で進められており、防災拠点として活用できるようにするため、対応が必要なものである。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	本庁舎の整備に係る市の基本的な考え方を公表し、整備に関する考え方を示すことができたので計画通り進められている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	成果指標の対象が本庁舎1棟であり、対象を増やすことが適当ではないため、向上する余地はない。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	理由 根拠	本庁舎の整備に係る基本的な考え方をまとめるに当たり、必要最低限度の内容で行っているため、コストの削減は困難である。
	なし		

事業名：江別市史編さん事業

参事(市史・行政資料)

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ①編さんで使用した資料の整理保存
- ②資料のデータベース化と保管
- ③市史関連図書の販売と在庫管理
- ④市史関連の照会への対応
- ⑤市史資料の継続的発掘と収集
- ⑥市史に関する情報の発信

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	「えべつの歴史」発行部数	部	450	400	0	400
活動指標 2	「えべつの歴史」等販売部数	部	163	86	66	100

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・市民の江別の歴史に対する関心が高まる。
- ・市民の江別の歴史に対する理解が深まる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	市史資料収集件数	件	1,370	1,106	1,409	1,380
成果指標 2	江別市の歴史に関する問い合わせ件数	件	38	30	40	34

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	5,878	6,311	4,275	2,518
正職員人件費(B)		千円	7,687	7,629	7,607	7,768
総事業費(A+B)		千円	13,565	13,940	11,882	10,286

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市史資料のデータベース化、市史に関する情報の発信、問い合わせへの回答など ・「えべつの歴史」「新江別市史」「えべつ昭和史」の販売、在庫管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬等 ・資料整理・保存用消耗品費 ・資料製本費 	<p>4,251千円 13千円 6千円</p>

事業開始背景
平成16年度が、江別の市制施行50周年の節目の年であり、先史から今日までの足どりを検証し、体系づけ、編さん、刊行することで、ここからの飛躍と市民生活の充実を期するため当事業を開始した。
事業を取り巻く環境変化
江別市では市民協働によるまちづくりをめざしており、市民のふるさと意識もより高まっていくものと思われる。令和3年度から「えべつの歴史」の刊行頻度を隔年に落としている。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">資料収集や問い合わせについては計画通りの成果があがっているが、「えべつの歴史」を隔年発行に変更したため、市史関連書籍全般の販売数は減少している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	資料収集や問い合わせについては計画通りの成果があがっているが、「えべつの歴史」を隔年発行に変更したため、市史関連書籍全般の販売数は減少している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	資料収集や問い合わせについては計画通りの成果があがっているが、「えべつの歴史」を隔年発行に変更したため、市史関連書籍全般の販売数は減少している。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">市民の江別に対する認識の深化に応え、継続的な資料の収集、研究、発信を進めていくことで、成果が向上する余地がある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	市民の江別に対する認識の深化に応え、継続的な資料の収集、研究、発信を進めていくことで、成果が向上する余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	市民の江別に対する認識の深化に応え、継続的な資料の収集、研究、発信を進めていくことで、成果が向上する余地がある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">令和3年度から「えべつの歴史」を隔年の発行に変更して経費を削減しており、これ以上の削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	令和3年度から「えべつの歴史」を隔年の発行に変更して経費を削減しており、これ以上の削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	令和3年度から「えべつの歴史」を隔年の発行に変更して経費を削減しており、これ以上の削減は難しい。				
なし						

事業名：市内大学等インターンシップ事業 職員課

政策	08 協働	戦略						
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進	具体的施策						
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市内大学（短大含む）の在学生
- ・市内大学（短大含む）

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 市内大学の在学生数	人	9,823	10,258	10,487	10,487
対象指標 2 市内大学数（短大含む）	校	5	5	5	5

手段（事務事業の内容、手法）

- ・市内大学の学生を市の各部署に受け入れ、8月から10月までのうち、実働30日間の就業体験実習を実施する。
- ・各職場での実習のほか、江別市政の理解を深めるため、市の職員を講師として市の財政状況や議会のしくみ等を学ぶ共通実習を実施する。
- ・実習の締めくくりとして、実習を通して得られた成果や自身の意識変化などを発表する実習報告会を開催する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 インターンシップ参加大学数	校	3	0	0	5
活動指標 2 インターンシップ参加学生数	人	7	0	0	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、江別市内において活躍できる人材を育成する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 将来、市や市内企業等で働きたいと思う学生の割合	%	100	0	0	100
成果指標 2 インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	%	100	0	0	100

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	56	0	0	327
正職員人件費 (B)	千円	2,306	763	761	3,107
総事業費 (A+B)	千円	2,362	763	761	3,434

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施中止	

事業開始背景
市内大学の学生の多くが卒業を機に市外へ転出していることから、卒業後も市や市内企業等で活躍できる人材を育成する仕組みが必要である。
事業を取り巻く環境変化
新卒者の就職率や離職率等、雇用状況に大きな改善は見られず、効果的な人材育成や就職者のミスマッチの防止等、継続的な取り組みが必要である。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3">理由 根拠</td> <td rowspan="3"> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は事業の実施を中止したため。</p> </td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は事業の実施を中止したため。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は事業の実施を中止したため。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3">理由 根拠</td> <td rowspan="3"> <p>新型コロナウイルス感染症のまん延が落ち着き、事業を実施することができれば、参加した学生に対して、市政に対する理解を促すとともに、市内企業等についても目を向ける機会を与えられることから、成果を上げることができる。</p> </td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延が落ち着き、事業を実施することができれば、参加した学生に対して、市政に対する理解を促すとともに、市内企業等についても目を向ける機会を与えられることから、成果を上げることができる。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延が落ち着き、事業を実施することができれば、参加した学生に対して、市政に対する理解を促すとともに、市内企業等についても目を向ける機会を与えられることから、成果を上げることができる。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2">理由 根拠</td> <td rowspan="2"> <p>事業を実施した場合のコストは、実習に係る移動費用（交通費の実費補助）のため、コスト削減は見込めない。</p> </td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>事業を実施した場合のコストは、実習に係る移動費用（交通費の実費補助）のため、コスト削減は見込めない。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>事業を実施した場合のコストは、実習に係る移動費用（交通費の実費補助）のため、コスト削減は見込めない。</p>				
なし						

事業名：住民情報システム高度化事業

参事 (情報管理)

政策	09 計画推進	戦略						
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進	具体的施策						
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

- ・住民情報システム
- ・住民情報システム関連機器 (大型プリンターなど)

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	業務システム数	システム	37	37	37	37
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

- ・住民情報システムの確実かつ正確な運用。
- ・必要なハードウェア、ソフトウェアの調達。
- ・適切な保守実施。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	システムを使用する課等の数	課	13	13	13	13
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

システム不具合及び運用ミスが発生させないことにより、安定した質の高い市民サービスを提供する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	システム不具合及び運用ミスによるトラブル回数	回	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	138,733	137,766	130,426	138,392
正職員人件費 (B)		千円	19,602	23,269	32,330	23,693
総事業費 (A+B)		千円	158,335	161,035	162,756	162,085

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・システム運用管理 ・帳票印刷印字及び封入封緘 ・プリンター等保守 ・マイナンバー制度対応システム改修等 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム運用管理 ・帳票印刷印字及び封入封緘 ・マイナンバー制度対応システム改修等 	<p>99,251千円</p> <p>14,064千円</p> <p>7,503千円</p>

事業開始背景
住民記録、税、収納、国民健康保険等、主に窓口での業務について効率化を図り、安定した質の高い市民サービスを提供するために、住民情報システムを導入した。
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> ・国の i-Japan 戦略2015、電子自治体の推進によって技術的に「電子市役所化」のスピードが急激に増加する傾向にある。 ・システム運用については、H25年度より新基幹系システムが稼動し業務の質向上をめざしている。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>マイナンバーをはじめとする法制度改正等への対応を実施しており、これまで重大なシステムトラブルは生じていない。しかし、各業務の制度が複雑化していることから、システム利用部署及び情報管理担当職員の負担は軽減されない。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>平成25年11月のシステム更新から6年を経て、平成31年4月にシステム再更新を行った。その間、重大な障害は発生せず、継続して安定稼働している。職員のシステムに対する習熟、業務改善等により、さらに質を高める余地はある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>経費の削減は難しいが、システムの機能活用による業務効率化を推進することにより、結果としてコスト削減ができる。</p>		

事業名：納税啓発事業

納税課 収納管理係

政策	09 計画推進	戦略						
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進	具体的施策						
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
市内の児童（小学6年生）及び生徒（中学3年生）						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内の小学6年生・中学3年生の人数	人	1,879	1,883	1,901	1,896
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
税務署と共催で将来の納税義務者となる市内の小・中学生に税への関心、納税思想の啓発、普及を目指し、小学生には書道、中学生には標語を募集。優秀作品を表彰し市役所ロビー等で作品展を行うほか、標語の優秀作品を広報・税務関係書類等に掲載するなどして活用している。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	出品票・応募用紙配布数	枚	1,879	1,883	1,901	1,896
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
将来の納税者となる市内の小・中学生に、税に関する関心と正しい知識を得る動機付けを行ない、納税思想の啓発、普及を図りたい。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	応募作品数	点	1,509	1,357	1,426	1,517
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	158	172	173	174
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,907	1,521	2,330
総事業費 (A+B)		千円	1,695	2,079	1,694	2,504

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	小中学生の税への関心を高め、納税思想の啓発・普及を図るため、税に関する書道・標語を募集し、優秀作品は表彰し、市役所ロビー・公民館等で作品展示を行う。	入賞者記念品等	171千円
		入選者表彰用消耗品	2千円

事業開始背景

将来の社会を担う児童・生徒が、税の持つ意味を身近なところから理解し、将来の税の負担者としての責任と自覚を育むことはとても重要であるとの観点から、昭和58年度から継続して行っている事業である。

事業を取り巻く環境変化

近年は、毎年11月の「税を考える週間」に合わせて事業を行っており、児童・生徒の税に対する理解を一層深める学習として進めている。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>当事業は、将来納税者となる小・中学生を対象としているため、現状において成果指標の判断は難しいが、近年は市税の収納率も上昇しており、良い影響をもたらしていると考えられる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>作品募集の対象学年を拡大することで応募数が増加する可能性は高いが、学校側のカリキュラム変更の負担もあり、対象学年の拡大は難しい。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>各小・中学校で作品の一次選考をお願いすることで優秀作品の選考時間を短縮することは可能ではあるが、学校内での一次選考が児童・生徒の応募意欲を損なわせる面もあり、前提条件とすることは出来ない。</p>		

事業名：職員福利厚生会補助金

職員課

政策	09 計画推進	戦略							
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市役所職員福利厚生会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	福利厚生会会員数	人	755	753	759	755
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市職員福利厚生事業補助金交付要綱に基づき、市職員が加入する福利厚生会に対し補助金を交付する。
※会員1人につき4,900円を限度とする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	3,473	1,312	1,656	3,095
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

職員の保健・元気回復その他厚生に関する事業のより一層の推進を図る。
※地方公務員法第42条に基づき実施

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	福利厚生に関する主な事業への参加延べ人数	人	445	258	432	970
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	3,473	1,312	1,656	3,095
正職員人件費 (B)		千円	769	763	761	777
総事業費 (A+B)		千円	4,242	2,075	2,417	3,872

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	江別市職員福利厚生事業補助金交付要綱に基づき市職員が加入する福利厚生会に対し補助金を交付する。	江別市役所職員福利厚生会への補助金	1,656千円

事業開始背景

地方公務員法第42条に基づき、職員の保健、元気回復その他厚生に関する計画の樹立・実施をするため、職員福利厚生会を組織したことに伴い、その運営補助のため補助金を交付することとなったもの。

事業を取り巻く環境変化

職員の保健、元気回復などの厚生事業は公務能率を増進させるために欠くことのできないものであるが、公費負担を伴うものであるため、事業内容の適正化と透明性が求められている。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により事業等が中止になったものもあるが、新規事業の実施によって事業への参加延べ人数は増加している。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	より多くの職員が参加・利用できるよう、職員の福利厚生に対するニーズを踏まえて事業内容を見直していくことで、職員の健康推進・元気回復が一層図られ、公務能率の向上にもつながっていく。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	福利厚生事業を安定的に運営していくために、現状以上のコスト削減は望めない。
	なし		

事業名：職員研修事業

職員課

政策	09 計画推進	戦略						
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	職員数（医療職を除く）	人	806	806	806	806
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地方公務員法第39条に基づき、毎年度、職員の資質及び職務遂行能力を向上させるために必要な研修を計画し、階層別、能力分野別に実施する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	研修実施数	回	21	14	13	23
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

職員の知識や発想力を養うとともに、政策形成能力・マネジメント能力・対人能力（コミュニケーション能力、接遇マナーなど）を高める。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	研修参加者延べ人数	人	531	362	277	649
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	6,364	3,082	3,594	8,137
正職員人件費 (B)		千円	11,531	16,784	16,735	16,313
総事業費 (A+B)		千円	17,895	19,866	20,329	24,450

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 組織内集合研修 北海道市町村職員研修センターへの派遣 市町村職員中央研修所への派遣 通信教育受講料・資格取得経費の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 各研修機関への派遣旅費 研修機関等への研修委託料 組織内集合研修委託料 通信教育等の助成や研修参加料等 	<p>707千円 139千円 2,336千円 180千円</p>

事業開始背景

地方公務員法（昭和25年法律第261号）第39条第1項の規定に基づき、職員の資質及び職務遂行能力を向上させ、行政環境の変化に対応しうる組織をつくり、市政の推進に資することを目的として実施。

事業を取り巻く環境変化

経済社会情勢の複雑化により行政へのニーズが多様化し、これまで以上に質の高い組織体制を構築することが必要であり、職員の能力・資質を向上させる研修（人材の育成）の重要性が高まっている。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた研修の中止や実施規模の縮小により、研修参加者延べ人数は減少しているが、実施した研修の受講者アンケートでは、公務能力の向上に役立つと回答した割合が高く、職員の知識や発想力は養えている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	職員研修の効果測定を行い、次年度以降の研修実施時に、職員ニーズ等を踏まえ組織課題解決に必要な能力の向上に役立つ研修を充実させることで、効果の向上が期待できる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	2日間の研修を1日間に集約するなど、研修日程を見直すことでコストの削減を図ることができる。 他市町村との合同研修を開催することで委託料の削減を図ることができる。
	なし		

事業名：指定管理者制度運営事業

【事業番号 711】
 契約管財課 契約係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
江別市が設置する公の施設						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	公の施設数	施設	300	302	302	301
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者の選考のため、指定管理者選定委員会の開催・運営を行う。 指定管理者制度を導入した施設の管理運営状況を検証するため、外部評価委員会の開催・運営を行う。 指定管理者制度の適正な運営のため、要綱・関係帳票等の整備を行う。 						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理者選定委員会開催回数	回	2	2	4	1
活動指標 2	指定管理者外部評価委員会開催回数	回	2	2	0	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
指定管理者制度の運用により、公の施設が適正かつ効率的に管理運営される。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	指定管理者の選定を行った施設数	施設	232	231	245	1
成果指標 2	外部評価を行った施設数	施設	4	12	0	10

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	162	137	195	167
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,815	4,184	4,272
総事業費 (A+B)		千円	4,006	3,952	4,379	4,439

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	指定管理者選定委員会の開催・運営	指定管理者選定委員会開催経費	195千円

事業開始背景
平成15年の地方自治法改正による。
事業を取り巻く環境変化
公の施設の管理を民間の自由な発想・方法に委ねることにより、効率的・効果的な管理運営が求められることとなった。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">指定管理者の選定は、概ね計画通りである。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #333333; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	指定管理者の選定は、概ね計画通りである。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				指定管理者の選定は、概ね計画通りである。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">選定については、各施設の指定期間により実施時期が決まるものであることから、意図的に選定実施施設を増やすことは難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #333333; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	選定については、各施設の指定期間により実施時期が決まるものであることから、意図的に選定実施施設を増やすことは難しい。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				選定については、各施設の指定期間により実施時期が決まるものであることから、意図的に選定実施施設を増やすことは難しい。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2">選定委員会の開催に関わる最小限の経費（委員報酬等）のみを計上していることから、コストの削減は厳しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #333333; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	選定委員会の開催に関わる最小限の経費（委員報酬等）のみを計上していることから、コストの削減は厳しい。	なし	
ある	理由 根拠	▶				選定委員会の開催に関わる最小限の経費（委員報酬等）のみを計上していることから、コストの削減は厳しい。	
なし							

事業名：市税電話催告等委託事業

納税課 収納管理係

政策	09 計画推進	戦略						
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進	具体的施策						
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税等の滞納者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市税等の滞納者数	人	2,574	2,478	2,243	2,478
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

業務内容：架電による納付督促、口座振替勧奨、及び電話番号調査
 対象科目：市道民税、固定・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、法人市民税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	架電数	件	33,488	32,604	31,429	35,580
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

架電による自主納付を促し、収納率向上を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	架電に対する応答数	件	16,574	18,007	17,210	35,580
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	6,417	6,821	6,817	6,949
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,907	1,521	1,554
総事業費 (A+B)		千円	7,954	8,728	8,338	8,503

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	電話催告業務の委託	架電業務委託料	6,470千円
		通話料・通信回線料	347千円

事業開始背景

納期内納付のより一層の推進と滞納繰越額の圧縮が課題だったことから、新たな滞納者を生じさせないための迅速な初期催告システムを確立するため、平成22年度から「納税案内コールセンター」事業をスタートした。

事業を取り巻く環境変化

当初は市税のみの案内でスタートしたが、平成26年度から税以外（料金）へ対象を拡大している。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	▶	架電の前倒しにより、納期内納付の推進に寄与している。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	▶	滞納者数減少に伴い、収納率は向上しているが、限られた人員で架電数を増加するには限界があるので、全体の成果向上余地は小さいと考える。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	▶	平成26年度からは税以外の料金へも対象を広げ、業務拡大していることから、コスト削減は難しい。
	なし			

事業名：市民税係一般管理経費

市民税課 市民税係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

税申告受付期間の繁忙期に、業務の円滑化及び効率化を図るため、業務の一部を外部委託する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	雇用者数	人	13	13	13	13
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

税申告の受付補助員を確保することにより、スムーズに適正な申告の受付を可能とする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	処理受付数	件	5,338	4,648	4,696	6,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	28,583	29,530	33,232	38,169
正職員人件費 (B)		千円	11,915	9,918	9,889	17,866
総事業費 (A+B)		千円	40,498	39,448	43,121	56,035

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 確定申告書及び市民税・道民税申告書作成に係る指導業務委託 課税資料等データ入力業務委託 税業務補助及び証明交付業務 市民税・道民税申告に係る課税業務 	<ul style="list-style-type: none"> 税申告受付業務委託 データ入力業務委託 証明交付に係る報酬・職員手当 申告業務に係る報酬 	<ul style="list-style-type: none"> 7,456千円 7,393千円 8,913千円 4,298千円

事業開始背景
緊急雇用創出推進事業の終了のため
事業を取り巻く環境変化
平成21年度から平成23年度まで補助金制度を活用したが平成23年度に終了

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">新型コロナウイルス感染症の拡大防止等により申告者が申告会場への来場を控えたこと、また、国税庁が所得税の確定申告について電子での申告を推し進めていることから、これらの影響によって市での受付件数はピーク時より減少傾向にある。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症の拡大防止等により申告者が申告会場への来場を控えたこと、また、国税庁が所得税の確定申告について電子での申告を推し進めていることから、これらの影響によって市での受付件数はピーク時より減少傾向にある。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				新型コロナウイルス感染症の拡大防止等により申告者が申告会場への来場を控えたこと、また、国税庁が所得税の確定申告について電子での申告を推し進めていることから、これらの影響によって市での受付件数はピーク時より減少傾向にある。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">所得税の確定申告については電子での申告が普及しているところだが、一定数の申告者は申告会場での申告をしていることから、新型コロナウイルス感染症等の状況によって、今後も受付件数は変動すると考えられる。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	所得税の確定申告については電子での申告が普及しているところだが、一定数の申告者は申告会場での申告をしていることから、新型コロナウイルス感染症等の状況によって、今後も受付件数は変動すると考えられる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				所得税の確定申告については電子での申告が普及しているところだが、一定数の申告者は申告会場での申告をしていることから、新型コロナウイルス感染症等の状況によって、今後も受付件数は変動すると考えられる。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="2">コストの内容は人件費であり、必要最小限であるため。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	コストの内容は人件費であり、必要最小限であるため。	なし	
ある	理由 根拠	▶				コストの内容は人件費であり、必要最小限であるため。	
なし							

事業名：ふるさと納税普及促進事業

契約管財課 管財係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・江別市へのふるさと納税者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	江別市を応援したい人（特定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・一定の条件を満たすふるさと納税者に対して、江別市の返礼品等を贈呈する。
- ・ふるさと納税制度等のPRを行う。
- ・寄附者に対し、ふるさと納税の活用事業を報告する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	「ふるさと納税」関連ウェブサイトへのアクセス件数	件	50,300	123,699	92,556	75,869
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・返礼品等の贈呈により、ふるさと納税者数の増加を図ることで、江別市及び江別市の特産品等のPRに繋げる。
- ・継続して江別市を応援してもらう。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	ふるさと納税者数	人	10,387	30,569	22,974	24,960
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	83,115	203,435	196,133	192,982
正職員人件費 (B)		千円	9,609	9,536	9,509	9,710
総事業費 (A+B)		千円	92,724	212,971	205,642	202,692

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品等の贈呈 ・ふるさと納税寄附金のクレジット等収納委託 ・ふるさと納税ポータルサイトへの掲載 ・ふるさと納税業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品等購入経費 ・返礼品送料 ・クレジット決済等手数料 ・ポータルサイト掲載料、システム利用料 ・ふるさと納税業務委託料 	<ul style="list-style-type: none"> 97,814千円 50,509千円 4,037千円 15,249千円 27,364千円
	令和3年度ふるさと納税寄附金額(実績) 282,448千円		

事業開始背景

- ・平成20年4月の税制改正により、地方公共団体に対し、一定額以上寄附を行った場合に、個人住民税・所得税の一部が控除されるふるさと納税制度が導入され、江別市では寄附者に対し、年末に礼状及びカレンダーを進呈してきた。
- ・平成26年度からスタートした第6次総合計画の「えべつ未来戦略」の中に「えべつの魅力発信シティプロモート」が位置づけられたことから、その一環として江別市及び地元特産品のPRを行うため、ふるさと納税者に対し江別市の特産品詰め合わせの進呈を開始した。
- ・寄附者の満足度向上と特産品関連産業の活性化を図るため、平成27年9月から特産品選択方式を導入した。

事業を取り巻く環境変化

平成20年	4月	税制改革	ふるさと納税制度導入
平成26年	4月	第6次総合計画	スタート、事業開始
平成27年	4月	税制改正	特例控除額の上限拡充、ワンストップ特例制度開始
平成27年	6月	クレジット決済	導入
平成27年	9月	特産品選択方式	の導入
平成28年	4月	特産品贈呈区分	の変更、贈答品対応導入
平成29年	4月	定期便方式	導入
平成29年	10月	市内の寄附者へ	の返礼品廃止
令和元年	4月	ポータルサイト	拡充、返礼品選定基準の見直し
令和元年	6月	ふるさと納税	指定制度の開始

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっていない</td> </tr> </table> <p>成果指標であるふるさと納税者数は令和2年度、30,569人であったことに対し、令和3年度は22,974人と減少している。減少の要因として人気返礼品の供給不足による寄附機会の喪失等が挙げられる。</p>	上がっている	理由 根拠	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠				
どちらかといえば上がっている					
上がっていない					
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？					
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table> <p>ふるさと納税者数が減少した要因の解消が急務であることから、返礼品提供事業者を支援する等により安定供給が可能となるような仕組みづくりや人気返礼品の発掘を行い、寄附機会を確保していく必要がある。ふるさと納税の制度上の様々な制約を遵守しつつ、事業者への聞き取りを行い、引き続き庁内検討会にて組織横断的に検討する中で魅力的な返礼品の確保やPR手法等の工夫を凝らしていくことで成果指標を向上させることができる。</p>	成果向上余地 大	理由 根拠	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠				
成果向上余地 中					
成果向上余地 小					
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？					
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table> <p>コスト削減の一環として、令和元年度から本事業における事務の一部を外部委託している。ふるさと納税指定制度上の経費に関する制約のため現状以上のコスト削減を行い、成果指標を向上させることは困難である。</p>	ある	理由 根拠	なし	
ある	理由 根拠				
なし					

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税等の納付義務者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	年間納付書総発行枚数	枚	378,691	355,242	385,113	400,000
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

コンビニエンスストアが市税等の収納業務を行い、収納件数に応じた事務委託手数料等を収納代行業者に支払う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	コンビニエンスストアで納付可能な税等の数	種類	10	10	10	10
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

コンビニエンスストアで市税等の納付を可能にすることで、納付義務者の利便性の向上を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	コンビニエンスストアでの取扱件数	件	127,223	132,222	136,458	146,134
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	5,973	6,446	6,665	7,053
正職員人件費 (B)		千円	3,075	3,433	3,804	3,884
総事業費 (A+B)		千円	9,048	9,879	10,469	10,937

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市税等のコンビニエンスストア収納業務の委託	事務委託手数料等 8,955千円 (うち2,290千円は国保特別会計より支出)	

事業開始背景
就業時間や生活スタイルが多様化する中で、市役所や金融機関の開いている時間に市税を納めることが難しいなどコンビニ収納のニーズが増えている。
事業を取り巻く環境変化
広く市民への利便性が周知・浸透されてきており、利用件数も増加している。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">平成26年度から始まった事業であるが、年々市民の認知度も上がり利用者も増加している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	平成26年度から始まった事業であるが、年々市民の認知度も上がり利用者も増加している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				平成26年度から始まった事業であるが、年々市民の認知度も上がり利用者も増加している。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">コンビニエンスストアでの納付を推進すると、手数料等が増加することから積極的な推進活動は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	コンビニエンスストアでの納付を推進すると、手数料等が増加することから積極的な推進活動は難しい。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				コンビニエンスストアでの納付を推進すると、手数料等が増加することから積極的な推進活動は難しい。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2">広く市民への利便性が周知・浸透されることでのコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	広く市民への利便性が周知・浸透されることでのコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	▶				広く市民への利便性が周知・浸透されることでのコスト削減は難しい。	
なし							

事業名：総合案内・電話交換業務委託経費 総務課 総務係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・案内窓口利用者
- ・市役所代表電話への着信

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	案内窓口利用者人数	人	14,520	14,852	13,524	15,000
対象指標 2	電話交換受付人数	人	52,206	56,136	55,141	55,000

手段（事務事業の内容、手法）

- ・総合窓口機能の充実を図り、案内及び問合せに対する対応を適切に行う。
- ・代表電話への電話内容を正確に把握し、担当課の内線へ迅速に接続する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	総合窓口案内件数	件	14,520	14,852	13,524	15,000
活動指標 2	電話交換受付件数	件	52,206	56,136	55,141	55,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市役所に来庁する市民に対し、的確な庁舎案内などのサービスを提供し、安心して来庁し、必要な手続き等がスムーズにできるようにする。
- ・市役所代表電話に電話をかけてくる市民等に対し、正確、迅速な電話交換業務を行うことにより、行政サービスの向上を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	案内窓口に係る苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2	電話交換に係る苦情件数	件	0	0	2	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	9,973	10,164	10,560	10,692
正職員人件費 (B)		千円	6,150	6,103	6,086	4,661
総事業費 (A+B)		千円	16,123	16,267	16,646	15,353

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・委託により、総合案内業務及び電話交換業務を実施する。	・総合案内窓口・電話交換業務委託料	10,560千円

事業開始背景

労働者派遣法の改正に伴い、同一の事業所に同一職員を派遣できる期間が原則3年となり、これに伴い案内窓口派遣されている職員のうち2名が平成30年度をもって派遣継続不可となった。こうしたことを背景に、経費削減、サービス向上を見込み、平成31年度から契約形態を変更し、両業務を併せて業務委託した。

事業を取り巻く環境変化

全般的に職員の接遇の向上が求められている。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> 各課と連携した的確な庁舎案内及び正確、迅速な電話交換業務を行うことにより、行政サービスの向上が図られている。 </td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	各課と連携した的確な庁舎案内及び正確、迅速な電話交換業務を行うことにより、行政サービスの向上が図られている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	各課と連携した的確な庁舎案内及び正確、迅速な電話交換業務を行うことにより、行政サービスの向上が図られている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> ノウハウのある事業者に業務委託しており、的確で安定的な庁舎案内及び電話交換業務が行われている。 </td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	ノウハウのある事業者に業務委託しており、的確で安定的な庁舎案内及び電話交換業務が行われている。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	ノウハウのある事業者に業務委託しており、的確で安定的な庁舎案内及び電話交換業務が行われている。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> 総合案内及び電話交換業務を一括委託するなど経費削減を図ってきている。 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	総合案内及び電話交換業務を一括委託するなど経費削減を図ってきている。	なし	
ある	理由 根拠	総合案内及び電話交換業務を一括委託するなど経費削減を図ってきている。				
なし						

事業名：ネットワーク網整備・保守事業

参事 (情報管理)

政策	09 計画推進		戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進		具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

- ・イントラネット (各庁舎、公共施設及び市立小中学校)
- ・ネットワーク機器 (サーバ・スイッチなど)
- ・事務用機器 (パソコン・プリンターなど)

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	イントラネット接続箇所数	箇所	61	61	61	61
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

- ・保守点検及び機器更新などにより、耐障害性を高める。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	ネットワーク保守点検回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

ネットワーク障害の可能性を低減することにより、業務継続性を高め安定した市民サービスを提供する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	事故・障害等によるネットワーク途絶回数	回	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	70,503	73,904	72,609	83,920
正職員人件費 (B)		千円	11,915	16,402	20,159	14,371
総事業費 (A+B)		千円	82,418	90,306	92,768	98,291

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イントラネット維持管理 ・ネットワーク機器維持管理 ・事務用機器維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・イントラネット保守経費 23,760千円 ・回線使用料等 4,070千円 ・機器等購入経費 31,055千円 (債務負担行為分含む)	

事業開始背景

住民情報システム、財務会計システム、グループウェア、インターネットの閲覧等を全庁的に利用できる環境を整備することで、市の業務の効率化が著しく図られるため、庁内各施設を結ぶイントラネット環境を構築した。

事業を取り巻く環境変化

- ・ネットワークが市の業務処理の重要な基盤となったため、ネットワークの安定化が重要である。

令和 3 年度の実績による担当課の評価（令和 4 年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	



市の職員が配置されている公共施設については、ネットワーク整備がほぼ完了し、業務の効率化につながっている。また、定期的なメンテナンスを実施をしていることから、ネットワーク障害はほとんど起きていない。

情報管理担当の職員のみならず市職員全体が庁内ネットワークへの理解を深めることで、事故を未然に防ぐことができるため。

サーバ機器の更新時に仮想サーバへの統合（一元化）を行うことで、導入及び保守費用を削減することは可能である。

事業名：えべつスノーフェスティバル開催補助事業 総務課 総務係

政策	99 政策の総合推進	戦略							
取組の基本方針	01 政策の総合推進	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スノーフェスティバル実行委員会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	14	14	13	13
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

青年会議所、子ども会育成連絡協議会などで構成する冬季イベント実行委員会に対して、「えべつ冬季イベント補助金交付要領」に基づき、スノーフェスティバル開催経費の一部を補助する。メイン会場において、すべり台等の制作、イベント・バザーの開催を行う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,180	0	0	2,180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・イベントを通して、冬を楽しみ、雪に親しみながら、親子のふれあいや市民相互の交流を深める。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	メイン会場来場者数	人	15,000	0	0	15,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,180	0	0	2,180
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,521	1,554
総事業費 (A+B)		千円	3,717	1,526	1,521	3,734

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	青年会議所、子ども会育成連絡協議会などで構成する冬季イベント実行委員会に対して、「えべつ冬季イベント補助金交付要領」に基づき、スノーフェスティバル開催経費の一部を補助する。メイン会場において、すべり台等の制作、イベント・バザーの開催を行う。	えべつスノーフェスティバル開催費補助金	0円

事業開始背景

青年会議所、子ども会育成連絡協議会などで構成している冬季イベント実行委員会に対して、「えべつ冬季イベント補助金交付要領」に基づき、スノーフェスティバル開催経費の一部を補助する。メイン会場においてすべり台等の製作、イベント・バザーの開催を行う。

事業を取り巻く環境変化

平成13年度から同時期に開催してきたマシュマロンピックは、平成20年度から中止となり、スノーフェスティバル単独の開催事業となった。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、スノーフェスティバルは開催中止となったため、成果指標としては上がっていない状況となっている。 </td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、スノーフェスティバルは開催中止となったため、成果指標としては上がっていない状況となっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、スノーフェスティバルは開催中止となったため、成果指標としては上がっていない状況となっている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> 毎年多くの市民や団体が参加し、様々な企画を行っているが、来場者数は天候に左右される状況にある。 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	毎年多くの市民や団体が参加し、様々な企画を行っているが、来場者数は天候に左右される状況にある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	毎年多くの市民や団体が参加し、様々な企画を行っているが、来場者数は天候に左右される状況にある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; background-color: black; color: white;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> 最低限の費用で開催している一方で、実行委員会において、更なる協賛金を募るなど、自主財源の収入を確保する余地は残されている。 </td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	最低限の費用で開催している一方で、実行委員会において、更なる協賛金を募るなど、自主財源の収入を確保する余地は残されている。	なし	
ある	理由 根拠	最低限の費用で開催している一方で、実行委員会において、更なる協賛金を募るなど、自主財源の収入を確保する余地は残されている。				
なし						

事業名：市政功労者等表彰事業

総務課 総務係

政策	99 政策の総合推進	戦略						
取組の基本方針	01 政策の総合推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市勢の振興発展に尽力し、また、市の経済、社会、文化等の発展に寄与し、その功績が顕著な者を表彰する。
 ①市政功労者表彰、市政功績者表彰（江別市表彰条例）
 ②社会貢献賞、産業貢献賞、文化貢献賞、特別褒賞（江別市顕彰規則）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	表彰者数（市政功労者・功績者）	人	2	3	5	4
活動指標 2	授与数（貢献賞・特別褒賞）	人・団体	6	10	5	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市政功労者、市政功績者等の表彰を行うことにより、事績を広く紹介し、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民の意識の高揚を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	表彰者数（市政功労者・功績者）	人	2	3	5	4
成果指標 2	授与数（貢献賞・特別褒賞）	人・団体	6	10	5	4

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	808	872	1,066	1,019
正職員人件費 (B)		千円	4,612	4,577	4,564	4,661
総事業費 (A+B)		千円	5,420	5,449	5,630	5,680

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市勢の振興発展に尽力し、また、市の経済、社会、文化等の発展に寄与し、その功績が顕著な者を表彰する。 ①市政功労者表彰、市政功績者表彰（江別市表彰条例） ②社会貢献賞、産業貢献賞、文化貢献賞、特別褒賞（江別市顕彰規則）	・功労章・功績章、記念品等作成経費	928千円
		・表彰式開催経費	138千円

事業開始背景

市勢の振興発展に尽力し、また、市の経済、社会、文化等の発展に寄与し、その功績が顕著な者を表彰するため、昭和36年度から開始。

事業を取り巻く環境変化

昭和36年度に表彰制度を制定して以来、江別市を取りまく社会経済状況は大きく変化してきており、市民が活躍し、功績をあげられる場も多様化している。表彰制度を運用するに当たっては、できる限り幅広く潜在候補者を調査するよう特に留意している。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>市勢の振興に寄与した人を市政功労者・功績者として表彰し、市民に対して周知することにより、市民の市政に対する意識付けが図られている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>市勢の振興に寄与した人を市政功労者・功績者として表彰し、市民に対して周知することにより、市民の市政に対する意識付けが図られている。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>市勢の振興に寄与した人を市政功労者・功績者として表彰し、市民に対して周知することにより、市民の市政に対する意識付けが図られている。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>表彰制度を通じて、市勢の振興や経済、社会、文化等の発展に対する市民意識の向上に努めようとするものであり、成果指標の向上余地は小さい。</p> </td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>表彰制度を通じて、市勢の振興や経済、社会、文化等の発展に対する市民意識の向上に努めようとするものであり、成果指標の向上余地は小さい。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>表彰制度を通じて、市勢の振興や経済、社会、文化等の発展に対する市民意識の向上に努めようとするものであり、成果指標の向上余地は小さい。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>社会情勢との適合を考慮のうえ、表彰制度の運用を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>社会情勢との適合を考慮のうえ、表彰制度の運用を行う。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>社会情勢との適合を考慮のうえ、表彰制度の運用を行う。</p>				
なし						

事業名：市長杯記念品授与等経費

総務課 総務係

政策	99 政策の総合推進	戦略						
取組の基本方針	01 政策の総合推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市に対して寄附を行った者
- ・市長杯を受賞する者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	寄附者数	人	41	81	47	20
対象指標 2	市長杯受賞者数	人	4	4	1	4

手段（事務事業の内容、手法）

- ・市に寄附を行った者に対し、感謝状を贈る。
- ・10万円以上の寄附者に対しては、感謝状に加えて記念品も贈る。
- ・市内で開催される大会において市長杯の出賞の要請があった場合、その大会の主旨等を提案し出賞する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	感謝状贈呈数	人	33	59	39	20
活動指標 2	市長杯出賞数	人	4	0	1	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）




- ・寄附を行った者に対し感謝の意を表す。
- ・市長杯の出賞を行うことにより、スポーツ・文化の発展を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	感謝状贈呈数	人	33	59	39	20
成果指標 2	市長杯出賞数	人	4	0	1	4

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	114	187	137	164
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	498	568	517	552

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各種大会等への市長杯の出賞 ・市への寄附者に対し、感謝状等を贈呈 	<ul style="list-style-type: none"> ・記念品等経費 137千円 	

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> ・寄附者に対し、感謝の意を表すため、感謝状等の贈呈を実施 ・スポーツ、文化等の各種大会のなかで、参加者の意識高揚のために市長杯を出賞
事業を取り巻く環境変化
毎年一定数の寄附者がある。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由 根拠  <p>令和3年度は、前年度よりも市に対する寄附が減ったことで感謝状贈呈数も減った。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で、市長杯の出賞に関する大会が中止となったものがあった。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由 根拠  <p>毎年一定数の寄附があるが、性質上、市の働きかけによってその件数を増加させるのは難しい面がある。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	理由 根拠  <p>費用対効果を念頭に記念品の選定を行う予定。</p>

事業名：江別及び野幌屯田兵村開村記念式典委員会補助金 総務課 総務係

政策	99 政策の総合推進	戦略							
取組の基本方針	01 政策の総合推進	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別屯田兵村開村記念式典委員会及び野幌屯田兵村開村記念式典委員会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	委員会構成委員数	人	13	13	13	13
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

屯田兵村開村記念式（式典と祝賀会）を開催するため、江別屯田兵村開村記念式典委員会及び野幌屯田兵村開村記念式典委員会に対し補助金を支出する。
 江別屯田兵村開村記念式は、例年5月27日に開催
 野幌屯田兵村開村記念式は、例年7月1日に開催

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	731	438	458	800
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

屯田兵村開村記念式を開催し、まちの基礎を築いた屯田兵村の歴史を伝えることにより、屯田兵村についての市民の認識を深める。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	屯田兵村開村記念式の出席者数	人	61	27	42	80
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	731	438	458	800
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	3,037	2,727	2,740	3,130

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	屯田兵村開村記念式（式典と祝賀会）を開催するため、江別屯田兵村開村記念式典委員会及び野幌屯田兵村開村記念式典委員会に対し補助金を支出する。 江別屯田兵村開村記念式は、例年5月27日に開催 野幌屯田兵村開村記念式は、例年7月1日に開催	屯田兵村開村記念式典委員会補助金	458千円

事業開始背景

昭和38年に江別屯田兵村、昭和41年に野幌屯田兵村が解散した際に、市は土地、建物、現金等の財産の寄付を受けたが、寄付の付帯条件として以後毎年開催する兵村開村記念式に補助金を支出することとなった。

事業を取り巻く環境変化

子孫の高齢化や転出等により、記念祭典への出席者が減少傾向にある。また、4代目以降の世代は先祖との直接の関わりが少なく、意識も異なることから、この傾向が続く可能性がある。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	毎年の兵村記念式典の開催により、先人への感謝と郷土への愛着を醸成することに寄与している。 令和3年度は前年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響により、式典の開催規模を縮小した。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	子孫の高齢化や転出等により、出席者数減少傾向は続くと思われる。その一方で学校授業等で郷土の歴史を学ぶ機会があり、屯田兵村についての市民の認識はかなり進んでいるため、若い世代からの参加が出てくる可能性もある。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	過去の経緯から難しい面はあるが、規模を縮小するなど検討の余地はある。
	なし			

事業名：市民会館管理運営事業

総務課 総務係

政策	99 政策の総合推進	戦略						
取組の基本方針	01 政策の総合推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民会館

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	86,291	86,342	86,287	87,083
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、利用者サービスを向上する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	利用者数	件	167,096	56,480	76,697	160,000
成果指標 2	自主事業数	回	26	4	7	22

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	87,256	87,041	87,398	88,201
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	89,562	89,330	89,680	90,531

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市民会館の管理・運営	・市民会館指定管理料 86,287千円 ・市民会館修繕費 1,000千円	

事業開始背景
市民会館は、市民等が集会等に利用し、福祉の増進及び文化の向上を図るための施設であり、その維持管理・運営を適切に行うため。
事業を取り巻く環境変化
平成18年度から指定管理者制度に変更。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">令和3年度は新型コロナウイルス感染症による休館や利用自粛などの影響で、利用者数に関して、前年度よりは増加しているものの、例年と比べると少ない状況である。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	令和3年度は新型コロナウイルス感染症による休館や利用自粛などの影響で、利用者数に関して、前年度よりは増加しているものの、例年と比べると少ない状況である。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				令和3年度は新型コロナウイルス感染症による休館や利用自粛などの影響で、利用者数に関して、前年度よりは増加しているものの、例年と比べると少ない状況である。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">自主事業のさらなる充実等により、利用者数増加の余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	自主事業のさらなる充実等により、利用者数増加の余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				自主事業のさらなる充実等により、利用者数増加の余地はある。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2">指定管理者制度により、市民会館運営の効率化は図られてきている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	指定管理者制度により、市民会館運営の効率化は図られてきている。	なし	
ある	理由 根拠	▶				指定管理者制度により、市民会館運営の効率化は図られてきている。	
なし							

政策	99 政策の総合推進	戦略	
取組の基本方針	01 政策の総合推進	具体的施策	
開始年度	令和 3年度	終了年度	—
		区分1	新規
		区分2	単独
			補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・固定資産税の対象資産
- ・現況調査を中心とした資産税課の事務
- ・地理空間情報にかかわりがある庁内の事務

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 固定資産税の課税対象の土地	筆	0	0	103,901	91,645
対象指標 2 固定資産税の課税対象の家屋	棟	0	0	53,062	52,889

手段（事務事業の内容、手法）

- ・空中写真を定期的に撮影し、実地調査が必要な資産を把握する。
- ・資産税課の業務から紙地図を廃止し、地理情報システムやタブレットを利用する。
- ・空中写真は、現況図（都市計画）の作成や地理情報システムのほか、庁内で利用する。
- ・地理情報システムは、他部署でも利用できるものとする。

スケジュール

- 令和3年度 空中写真撮影（1回目）、オルソ画像作成、地理情報システム・タブレット導入、地番図データ作成
- 令和4年度 家屋配置図データ作成、地番図データ更新
- 令和5年度 空中写真撮影（2回目）、オルソ画像作成、地番図・家屋配置図データ更新（以後、データ更新は毎年度）
- 令和6年度 空中写真による家屋異動判読、判読結果による実地調査
- 令和8年度 空中写真撮影（3回目。以後、3年周期で撮影～調査を実施）

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 空中写真撮影回数	回	0	0	1	0
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・公平かつ適正に課税されている。
- ・正確かつ効率的に事務が行われている。
- ・地理空間情報にかかわりがある庁内の事務が効果的に行われている。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 外勤調査1回当たりの家屋評価件数（令和6年度以降）	件	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	0	0	18,043	8,818
正職員人件費 (B)	千円	0	0	4,184	5,826
総事業費 (A+B)	千円	0	0	22,227	14,644

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・空中写真撮影、オルソ画像作成 ・地理情報システム・タブレット導入及び使用、地番図データ作成	・空中写真撮影、オルソ画像作成 6,402千円 ・地理情報システム・タブレット導入、地番図データ作成 9,185千円

事業開始背景

限られた人員体制で土地で10万筆、家屋で5万棟を超える多数の固定資産の現況調査等をより効果的に行っていくためには、全て職員が実際に現地で調査して紙地図に結果を記録するこれまでの手法から、空中写真や地理情報システム等を利用する手法に変えていく必要がある。

事業を取り巻く環境変化

令和3年度からシステムの導入や地図の電子化を進め、空中写真を本格的に利用した現況調査は、令和6年度からを予定している。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	成果指標の実績は、令和6年度以降のため
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	家屋調査を主目的に進めている事業だが、土地調査にも活用できるため。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	令和7年度以降、『さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン連携事業』において、空中写真撮影及び写真地図作成の共同発注が検討されており、実現により費用縮減が見込める。
	なし			